「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（1）

鈴木 俊貴

4 私は二〇〇五年から毎年、長野県軽井沢町のとある森に巣箱を掛けて、繁殖したシジュウカラの様子を観察してきました。二〇〇八年六月のある日、研究の転機がおとずれました。いつものように観察に向かうと、シジュウカラの巣箱にアオダイショウが迫り、ひなを食べようとしているところに出くわしたのです。そのとき、親鳥はヘビに接近し、翼を広げて威嚇しながら、けたたましく「ジャージャー」と鳴いていました。それまで、朝から夕方までシジュウカラを観察してきましたが、こんな鳴き声を聞いたのは初めてでした。シジュウカラの卵やひなを襲う天敵には、ヘビの他にカラスやネコ、イタチ類が挙げられます。親鳥は、これらの天敵には「ピーツピ」と鳴くのに対し、ヘビにだけは「ジャージャー」と鳴いていたのです。鳴き声を録音し、コンピュータで分析してみても、その違いは明らかでした。

5 私は、これらの観察から、シジュウカラの「ジャージャー」という鳴き声が、警戒すべき対象としての「ヘビ」を意味する「単語」になっているのではないかという仮説を立てました。ここでの「単語」とは、「ヘビ」や「タカ」といった異なる意味を伝える一つ一つの鳴き声だと定義することにします。

（4・5は教科書本文における形式段落番号を表します）

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線部「研究の転機」とは何か。適当なものを選びなさい。

ア シジュウカラのひなが、天敵に対して「ピーツピ」と鳴くのを聞いたこと。

イ シジュウカラの親鳥が、天敵に対して「ピーツピ」と鳴くのを聞いたこと。

ウ シジュウカラの親鳥が、ヘビに対して「ピーツピ」と鳴くのを聞いたこと。

エ シジュウカラの親鳥が、ヘビに対して「ジャージャー」と鳴くのを聞いたこと。

〔　　〕

(2) 次の天敵に対して、シジュウカラは何と鳴くか。「ピーツピ」は**ア**、「ジャージャー」は**イ**で、それぞれ答えなさい。

①カラス〔　　〕　②ヘビ〔　　〕

③ネコ〔　　〕　④イタチ類〔　　〕

(3) 筆者が立てた仮説となるように、次の文の解答欄（かいとうらん）に入る言葉を、本文中からそれぞれ書きぬきなさい。

シジュウカラの「□□□□□□」という鳴き声は、「□□」を意味する「□□」である。